

平成30年度 道徳教育地域支援委託事業

研究主題 **互いに支え合い 高め合い、生き方についての考えを深める特別の教科 道徳をめざして**

研究の具体

道徳教育の充実を促す指導体制

全教職員が3つの**道徳教育推進プロジェクト**に所属(①教材P、②連携P、③環境P)
 管理職+各プロジェクトのチーフ+教務主任による**道徳ミーティング**(各学年団の進捗状況や内容等について情報交換・調整・修正)の実施 ※ミーティングの時間は週時程の日課に組み込んで実施

①教材P

- ・自分のこととして考える教材の開発
- ・自らの成長やよさを実感させる評価の工夫

②連携P

- ・道徳通信「くすのき」の発行
- ・地域ボランティアを通じた心の醸成

③環境P

- ・心に訴え、考えさせる掲示の充実
- ・放送による朝の道徳の運営

各Pのチーフが、各学年団に分散するように組織化

考え・議論する道徳の授業づくり

○自分のこととして考えさせる授業
 中心発問の吟味による、課題意識の持たせ方

○互いに聴き合い、自他の考えをつなげる授業

いろいろな考え方に触れる中で、多面的・多角的な見方へと発展させる指導法の探究



聴く→つなげる→振り返る

○自らの成長やよさを実感させる評価
 リフレクションシートによる振り返り

保護者・地域との連携

○道徳通信「くすのき」の発行

道徳に関する取組を通信にまとめ、月に1度発行
 保護者や学校評議員への配布はもちろん、校区内の公民館にも置いていただき、地域の方々に発信するとともに、返信を生かす工夫



○地域活動等と関連つけた心の醸成

地域のクリーン作戦や総本山善通寺でのお接待ボランティア等の触れ合い活動を通じた自己有用感の醸成

全校・学年一斉道徳

○一斉道徳の日 ゲストティーチャー

- ・「貧困と共に生きる子どもたち」
 (公財) SYD 青木富造氏、山口智恵子氏
- ・「夢に向かって」
 TSCアナウンサー 佐竹明咲美氏 (地域)
- ・「命の授業」
 講演家 腰塚勇人氏
- ・善通寺 龍神太鼓 (地域) など

心に訴えかける環境づくり

○廊下掲示

季節の話題から、命の大切さを考えさせるシリーズを掲示したり、新聞記事の内容に対し、意見を対立軸で表すコーナーを設けたりすることで、考え、感じさせる場を設定



○放送による朝の道徳

隔週の火曜日(3年団は毎週月曜日)の朝、心に響く内容の詩や読み物を一斉放送

研究の検証及び改善の手立て

下のグラフは、現3年生の県学習状況調査の質問紙調査(1・2年次)と本年11月に本校で同じ内容の調査をした経年比較のグラフである。これらの結果、「人の役に立つ人間になりたいと思う」などの道徳的心情に関する複数の項目で、改善が見られる。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」については、改善が見られるものの、依然として「あまり思わない、まったく思わない」と回答する生徒が存在する。引き続き、道徳教育をはじめ、教育活動全般を通じた実践の工夫や継続が求められる。

